

令和5年度 ISO/IEC国際会議への専門家派遣に係わる補助事業報告

会議名	開催地	開催日	参加国・機関及び人数	出席者(報告者)	概 要
ISO TC37 Meetings 2023 Brussels	ベルギー、ブリュッセル	2023.06.11～06.16	フランス ANFOR、韓国 KATS、中国 SAC、カナダ SCC、日本 JISC	中村 哲三	ISO 24620-4の内容を発展させ、普及させるために、既存のライティングルール集(ISO 24620-4自体)に加えて、わかりやすく書くための用語辞書をつくることを検討。そのための必要な情報を収集。ASD-STE100の用語辞書をベースとして検討する。ISO 24620-4のAnnexとして追加することが現実的である。現WGは、テクニカルライティングについて相談するのは難しい。WG 11 (Plain language)については、ISO 24620-4と分野が似通っているので、ダブらないようその動向を確認する。
the 47th meeting of ISO/JTC 1/SC 17/WG 11 "Application of biometrics to cards and personal identification"	スペイン、マラガ	6/12～6/15	対面参加:シンガポール, SSC、スペイン, AENOR、韓国, KATS、日本, JISC 計6名 遠隔参加:シンガポール, SSC、ノルウェー, SN、中国, SAC 計12名	酒井 高彦	■BSoc (Biometric System on Card) PlugFest 報告 指紋センサ搭載ICカードによるICカード内指紋認証を目指した相互運用試験が2023年1月に実施され(前回会議でこの結果は報告済)、その後に行われたデータ分析結果が報告された ■ISO/IEC 17839 シリーズ 生体情報取得機構組込・カード内部処理生体認証ICカード(BSoC: Biometric System on Card)規格に提示された意見解決実施 Part 2のみ次回会議後にDIS投票へ進める Part 1と3はWDをSC17/WG11内投票にかける ■ISO/IEC 18584 シリーズ ISO/IEC 24787シリーズで規定されるカード内部処理生体認証ICカード(On-card Biometrics)の試験規格に提示された意見解決実施 Part 1, 2共にCD投票へ進む ■ISO/IEC 24787 シリーズ カード内部処理生体認証ICカード(On-card Biometrics)の規格に提示された意見解決実施 Part 1, 2共にFDIS投票へ進む
ISO/TC178/WG5	アメリカ、デンバー	8/29～31	7カ国10名	小林 英彦	1. ISO 8103-1(Part1: Safety requirements)の作業ステージ投票 ISO 8103-1の作業ステージについてCIB 投票を行った結果、情報の行き違いがありISO 8103-1の開発ロードマップにて事前に取り決めたDIS stage40.00ではなくWD stage20.00への投票が最多13か国となってしまったため、再投票を行った。その結果、開発ロードマップ通りDIS stage40.00にて作業することが承認された。 2. ISO/TR 8103-3(Part3:Requirements from other Standards not included in ISO 8103-1)の作成 米国・日本で作成したISO/TR 8103-3 ドラフト案を確認しながらASME 17.1 2016及びJapanese Codesの表記方法について議論を行った。確認の結果、米国・日本の表記方法・まとめ方に差異があったため統一ルールを策定し、そのルールに従って23年9月末までにドラフト案を修正し次回会議にて完成させることとした。 3. 各国法規における最新活動の情報共有 主にEN115の最新活動状況についての報告が行われ、EN115-1の改定項目やEN115-4 のInterpretation Requestsに対する回答状況、従来設定がなかった既設物件に対するエスカレーターの撤去新設に対する規定E N115-5について説明があった。また、今後EN115 がISO 8103に集約されることに伴い現在EU圏のメンバーのみで構成されるISO/TC178/WG 2メンバーにEU/ 日本 米国 中国 インドも参加する構想について説明があった。
ISO/TC178/WG5	アメリカ、デンバー	8/29～31	7カ国10名	西 正弘	1. ISO 8103-1(Part1: Safety requirements)の作業ステージ投票 ISO 8103-1の作業ステージについてCIB 投票を行った結果、情報の行き違いがありISO 8103-1の開発ロードマップにて事前に取り決めたDIS stage40.00ではなくWD stage20.00への投票が最多13か国となってしまったため、再投票を行った。その結果、開発ロードマップ通りDIS stage40.00にて作業することが承認された。 2. ISO/TR 8103-3(Part3:Requirements from other Standards not included in ISO 8103-1)の作成 米国・日本で作成したISO/TR 8103-3 ドラフト案を確認しながらASME 17.1 2016及びJapanese Codesの表記方法について議論を行った。確認の結果、米国・日本の表記方法・まとめ方に差異があったため統一ルールを策定し、そのルールに従って23年9月末までにドラフト案を修正し次回会議にて完成させることとした。 3. 各国法規における最新活動の情報共有 主にEN115の最新活動状況についての報告が行われ、EN115-1の改定項目やEN115-4 のInterpretation Requestsに対する回答状況、従来設定がなかった既設物件に対するエスカレーターの撤去新設に対する規定E N115-5について説明があった。また、今後EN115 がISO 8103に集約されることに伴い現在EU圏のメンバーのみで構成されるISO/TC178/WG 2メンバーにEU/ 日本 米国 中国 インドも参加する構想について説明があった。